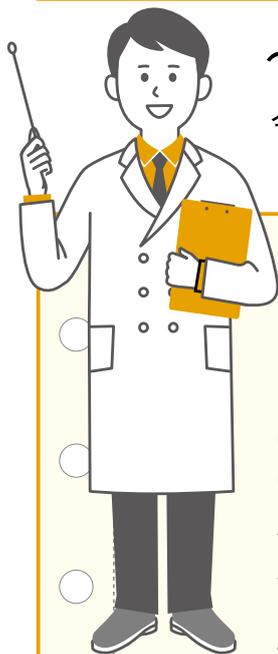


電気のホームドクター通信 no.05



～無資格者による電気工事で漏電が発生！～

今回は、資格を持たない方が行ったコンセントの取替工事の結果、漏電が発生！その重大事故を未然に防いだ事例を紹介します。

「コンセントが壊れているのを発見し修理しました。」 お客さまからの言葉が重要な手掛かりに。

定期調査のため、ある施設を訪問した時のことです。調査の趣旨をお伝えし、電気設備の漏電調査を行ったところ、10アンペアという大きな漏洩電流を計測しました。お客さまには漏洩電流が大きく異常であることをお伝えし、最近の電気設備の改修状況を確認しましたが、特に心当たりがありませんでした。屋内にある4カ所の配電盤調査の結果、施設1階のコンセント回路が原因であることを特定しました。その回路の詳細調査を行うことにお客さまにお伝えしたところ、「先日、コンセントが壊れているのを発見し、修理しました。」と手掛かりとなる重要な情報をいただきました。

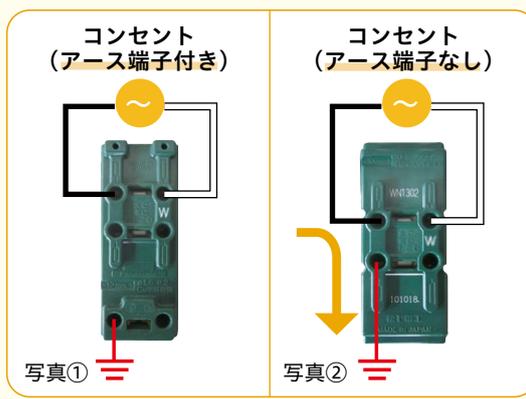
対象のコンセントは埋込式で、外観上の異常は見られませんでした。内部を確認したところ、電源側に黒線と赤線の2本、接地側(W)に白線の1本が接続されていました。接続の異常を感じ、電線を解線して電圧を確認すると、黒-白間100V、赤-白間0V、黒-赤間100Vであり、詳細確認を行ったところ赤線はアース線であることが判明しました。

無資格者による誤った工事が原因で重大事故につながる可能性があります

その後の聞き取りで、今まで使用していたアース端子付きコンセント(写真①)から端子なしコンセント(写真②)に取り替えた際に、誤った接続となったことが分かりました。コンセント内の配線を正規接続に戻し、再度、漏洩電流の測定、絶縁抵抗測定を実施し、正常値となったことを確認しました。

コンセントの取替など、簡単な電気工事でも、専門知識のない無資格者による誤った工事が原因で、漏電からの火災等、重大事故につながる可能性があります。そのため、必ず電気工事店など、電気工事の資格を持った電気の専門家にご相談し、電気工事を行っていただくことをお願いしました。お客さまには、その旨をご理解いただくとともに、異常箇所発見により事故に至らなかったことを感謝していただきました。

今後も、無資格者による電気工事による危険性を訴え、重大事故の未然防止に努めます。



黒線・白線は電源 (AV100V) 赤線がアース線

今回の事例で、お客さまに気を付けていただきたいポイント！

中部電気保安協会 長野支店 長野営業所 調査課 倉澤 紀秋

電気工事を行う場合は、電気工事士の資格が必要です。

無資格者による工事は、感電や火災に繋がる恐れがありますので、

電気の不具合は電気工事店など、電気の専門家にご相談ください。

無資格者による
電気工事は
絶対に
やめてください！

